

<著作物一覧>

著作物	出版年	作者	収録作品	出版社
法禮の和昭	1941	共著		興亜日本社
駆け出し時代	1949	戸川幸夫	未見	新聞記者室
傳説パトロール	1952	戸川幸夫		駿河台書房
特ダネ選手	1952	戸川幸夫	特ダネ選手、女優失跡、張り込み日記	鱒書房
東京 傳説めぐり	1952	戸川幸夫		駿河台書房
現代ユーモア文学全集	1954	戸川幸夫		駿河台書房
新聞記者と毛糸と女房	1955	共著	未見、『毎日新聞の二十四時間』所収	鱒書房
甘言学	1955	共著	戸川幸夫「嘘」	笑の泉社
高安犬物語	1956	戸川幸夫		新潮社
常王(※爪王)	1956	共著	未見、『創作代表選集—昭和三十年後期』所収	講談社
ヨコハマ	1956	戸川幸夫		現代社
咬ませ犬	1956	戸川幸夫	未見	角川書店
武豪列伝	1956	戸川幸夫		講談社
かもしか学園	1956	戸川幸夫		創元社
動物愛情物語	1956	戸川幸夫	高安犬物語、秋田犬物語、山犬塚、我が家を求めて、天狗がおいていつた子犬、戸倉山の大鷲、熊鷹の羽ばたき、人間と自然の呼び声、てんぼう	文陽社
山の動物たち	1956	戸川幸夫		鱒書房
日本動物志	1956	戸川幸夫	飴色角と三本指、爪王、吾妻の白猿神、左膳鴉、武尊の兄妹熊、佛法僧	文藝春秋新社
直木賞作品集4	1956	有馬頼義、梅崎春生、戸川	戸川幸夫「高安犬物語」	講談社
おとぼけ帳	1956	共著	未見	笑の泉社
落書帳	1956	共著	未見	笑の泉社
消えた乳房—名犬トリス特ダネ帳—	1957	戸川幸夫		角川書店
牙王物語 上巻	1957	戸川幸夫		角川書店
奈落の恋人	1958	戸川幸夫	奈落の恋人、神様になった狼	和同出版社
新聞記者 呆助物語	1958	戸川幸夫	新聞記者呆助物語、仁さんの愛犬、親嘴	和同出版社
翳ある落日	1958	戸川幸夫		東都書房
赤い十字路	1958	戸川幸夫		光風社
続 赤い十字路	1958	戸川幸夫		光風社
ミイラの招待	1958	戸川幸夫		和同出版社
牙王物語 下巻	1958	戸川幸夫		角川書店
かけだし記者	1958	戸川幸夫	かけだし記者、張り込み日記、恐妻部長、女優失跡、チャップリン少佐とヌード写真、コノワタ物語	和同出版社
暗殺者—近代日本暗殺史—	1958	戸川幸夫		六興出版
悲しき獣	1958	戸川幸夫		六興出版

孤独の吠え声	1958	戸川幸夫		新潮社
挑戦	1958	戸川幸夫		文芸評論新社
隊長と犬係と樞犬たち	1958	戸川幸夫		講談社
銀座やぶしらず	1959	戸川幸夫	他社の人、羚羊、奇妙な強姦、崖に起つ、銀座やぶしらず、宇宙の貸借	光書房
武四郎探検譚	1959	戸川幸夫		講談社
鬼の指紋	1959	戸川幸夫		和同出版社
スリラー小説 海の非常線	1959	戸川幸夫		光文社
現代長編小説全集 戸川幸夫、南条範夫集	1959	戸川幸夫、南条範夫	牙王物語、咬ませ犬	講談社
咬ませ犬	1959	戸川幸夫		角川書店
高安犬物語	1959	戸川幸夫	高安犬物語、熊犬物語、北へ帰る、土佐犬物語、秋田犬物語	新潮文庫
山嶽巨人伝	1959	戸川幸夫		光文社
咬ませ犬	1959	戸川幸夫	咬ませ犬、中犬像紳士録、仔犬、山犬塚、猪犬物	角川書店
高安犬物語	1959	戸川幸夫		新潮文庫
諸国獵人譚	1959	戸川幸夫		文藝春秋
雲を追う男 上巻	1960	戸川幸夫		光風社
雲を追う男 下巻	1960	戸川幸夫		光風社
少年少女現代文学傑作選集Ⅲ かもしか学園	1960	戸川幸夫		刀江書院
動物風土記1 サーカスの風	1960	戸川幸夫		角川書店
風雲 山嶽巨人伝	1960	戸川幸夫		アサヒ芸能出版株式会
鷗と銃弾	1961	戸川幸夫		光風社
野生の友だち 私の動物放浪記	1961	戸川幸夫		東都書房
動物風土記2 氷海に生きる	1961	戸川幸夫		角川書店
動物風土記3 黄色い嵐	1961	戸川幸夫		角川書店
野生への旅 I 知床半島	1961	戸川幸夫		新潮社
愛犬放浪記	1961	戸川幸夫		東京書房
野生への旅Ⅱ マタギー狩人の記録	1962	戸川幸夫		新潮社
牙王物語	1962	戸川幸夫		講談社
DER TOD DES GROSSEN OCHSEN	1962	共著		RICHARD HOFFMAN
野性への旅Ⅲ 下北と都井	1963	戸川幸夫		新潮社
悲しき太平洋	1963	戸川幸夫		講談社
あすなろ学園	1963	戸川幸夫		秋元書房
かわうそ物語	1963	G・マクスウェル作 戸川幸夫・大原武夫		毎日新聞社

ジュニア版日本文学名作選9 熊犬物語	1964	戸川幸夫	高安犬物語、北へ帰る、熊犬物語、咬ませ犬、爪王、山犬塚、仏法僧、猪犬物語	偕成社
野性への旅Ⅳ マタウンパー野生動物追跡の記録ー	1964	戸川幸夫		新潮社
山嶽巨人伝	1965	戸川幸夫		冬樹社
戸川幸夫動物文学全集⑥	1965	戸川幸夫	砕けた牙、熊犬物語、罷風、コンドル、朝日嶽の癩熊、けもの泥、火の帯、山犬塚、秋田犬物語、今日も山は傾れる、鱧王、のすり物語、戸倉鷲、野犬物語、黄金の曙	冬樹社
戸川幸夫動物文学全集⑤	1965	戸川幸夫	オホーツク老人、左膳鴉、花園の教育者、老いたる翼、象使いのボスコ、狂い角、支配者、政爺と獺、栄光ある敗北、御用邸狐、武尊の兄妹熊、東京雀、吾妻の白猿神	冬樹社
戸川幸夫動物文学全集④	1965	戸川幸夫	かもしかの学園、黄色い嵐	冬樹社
戸川幸夫動物文学全集③	1965	戸川幸夫	牙王物語	冬樹社
戸川幸夫動物文学全集②	1965	戸川幸夫	孤独の吠え声、飴色角と三本指、黒い背緒、生きる、土佐犬物語、罷の村、忠犬紳士録	冬樹社
戸川幸夫動物文学全集①	1965	戸川幸夫	高安犬物語、氷海の民、ライオン野郎、咬ませ犬、ハブ、熊、漂流、北へ帰る、爪王、仏法僧、骨の影、犬馬鹿	冬樹社
野性への旅Ⅴ原始の島	1966	戸川幸夫		新潮社
新・日本児童文学選16 オオカミ犬物語	1966	戸川幸夫	オオカミ犬物語、クマタカのはばたき、白サル物語、ハブとイタチと三吉、てんぼうザル、北へ帰る	偕成社
どうぶつおはなし絵本3 あざらしのおやこ	1966	戸川幸夫		ポプラ社
どうぶつおはなし絵本5 きんいろのみつばち	1966	戸川幸夫		ポプラ社
新日本名所案内	1966	共著	戸川幸夫「尾瀬」	朝日新聞社
戸川幸夫動物文学全集⑩	1966	戸川幸夫	犬、狼と山犬、猿、熊、羚羊と鹿、狐、猪、イルカとトドとアザラシ、鷹と鷲、ハブと山猫	冬樹社
戸川幸夫動物文学全集⑨	1966	戸川幸夫	荒馬物語、山から来た犬の物語、隊長と犬係と樞犬たち、闘犬図、羚羊、コンちゃん、ゴリラ記、短いみじかい物語	冬樹社
戸川幸夫動物文学全集⑧	1966	戸川幸夫	諸国獵人譚、トナカイと復習、とつこの政、爪	冬樹社
戸川幸夫動物文学全集⑦	1966	戸川幸夫	氷海に生きる、サーカスの風	冬樹社
乃木と東郷 上	1967	戸川幸夫		読売新聞社
乃木と東郷 下	1967	戸川幸夫		読売新聞社
戸川幸夫・子どものための動物物語⑦ 野犬物語	1967	戸川幸夫	野犬物語、老いたるつばさ、ゴリラ記	国土社

戸川幸夫・子どものための動物物語 ③ くだけた牙	1967	戸川幸夫	くだけた牙、東京スズメ、黒い背びれ	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ① 高安犬物語	1967	戸川幸夫	高安犬物語、火の帯	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ② 土佐犬物語	1967	戸川幸夫	土佐犬物語、戸倉ワシ	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑤ 政じいとカワウソ	1967	戸川幸夫	政じいとカワウソ、ご用邸ギツネ、生きる、	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑩ 秋田犬物語	1967	戸川幸夫	秋田犬物語、カモシカ、武尊の兄妹グマ	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑥ 荒馬物語	1967	戸川幸夫	荒馬物語、北へ帰る	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑨ 吾妻の白サル神	1967	戸川幸夫	吾妻の白サル神、左膳ガラス、あめ色角と三本指	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ④ ノスリ物語	1967	戸川幸夫	ノスリ物語、きょうも山はなだれる、コンちゃん	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑧ ひれ王	1967	戸川幸夫	ひれ王、三里番屋、爪	国土社
どうぶつおはなし絵本10 モーリン のぼうけん	1967	戸川幸夫		ポプラ社
動物のアフリカ	1967	戸川幸夫		講談社
のら犬物語(新児童文学・名作シ リーズ2)	1967	戸川幸夫		金の星社
世界動物小説集 ロッキーの蒼鷹	1967	共著	戸川幸夫「高安犬物語」	講談社
あゝ玉杯に花うけて—わが旧制高校 時代	1967	共著	戸川幸夫「二人だけの送別会」	有紀書房
こよりの犬	1967	戸川幸夫		朝日ソノラマ
侍志願	1967	戸川幸夫		人物往来社
風雲	1967	戸川幸夫		海燕社
幕末のあらし 西南の役	1967	戸川幸夫		学習研究社
乃木希典	1968	戸川幸夫		人物往来社
人喰鉄道	1968	戸川幸夫		毎日新聞社
随筆 百人一種	1968	共著	戸川幸夫「アフリカ人ムヒンデ」	しなの出版
秘めたる旅路18人紀行	1968	共著	戸川幸夫「西表島の幻の山猫」	日本交通公社
日本の小説4少年文学	1968	共著	戸川幸夫「山犬塚」	正進社
戸川幸夫動物文学(二)	1968	戸川幸夫	鱒王、謀議、御用邸狐、罌の村、吾妻の白猿神、 ゴリラ記	新潮文庫
戸川幸夫動物文学(一)	1968	戸川幸夫	ライオン野郎、咬ませ犬、ハブ、爪王、仏法僧、骨 の影	新潮文庫

人くい鉄道	1968	戸川幸夫		毎日新聞社
少年少女世界文学全集20	1968	戸川幸夫	戸川幸夫(シートン動物記)ずいそう「シートンとわたし」	学習研究社
けものの国へ ペンとカメラのアフリカ動物旅行	1968	戸川幸夫		毎日新聞社
漂流綺譚	1969	戸川幸夫		太平出版株式会社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑪ 爪王	1969	戸川幸夫	爪王、トナカイとふくしゅう、ヒグマの村	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑫ かもしか学園	1969	戸川幸夫	かもしか学園	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑭ 牙王物語(上)	1969	戸川幸夫	牙王物語(上)	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑮ 牙王物語(下)	1969	戸川幸夫	牙王物語(下)	国土社
戸川幸夫・子どものための動物物語 ⑬ きいろい嵐	1969	戸川幸夫	きいろい嵐、ヒグマとのたたかい	国土社
新しい日本の童話シリーズ7 ギザ耳ものがたり	1969	戸川幸夫		学習研究社
乃木と東郷	1969	戸川幸夫		角川書店
ます美のどうぶつえほん 写真版 1 アフリカのどうぶつ	1969	戸川幸夫		ます美書房
小説 新聞社カメラマン	1970	戸川幸夫		毎日新聞社
新選創作児童文学11 白サル物語	1970	戸川幸夫		国土社
赤い草原(アフリカ冒険小説)	1970	戸川幸夫		朝日ソノラマ
ホーム・スクール版/日本の名作文学37 熊犬物語	1970	戸川幸夫	高安犬物語、北へ帰る、熊犬物語、咬ませ犬、爪王、山犬塚、仏法僧、猪犬物語	偕成社
正進社作文庫20 年年歳歳・飴色角と三本指	1970	阿川弘之、戸川幸夫	戸川幸夫「飴色角と三本指」「爪王」	正進社
氷原に吠える	1970	戸川幸夫		文藝春秋
ピィヒャラ物語	1971	戸川幸夫		実業之日本社
福島はいいなあ	1971	共著	戸川幸夫「(紀行) 尾瀬」	福島中央テレビ企画事業本部
AFRICAN ANIMALS A Camera Safari	1971	YUKIO TOGAWA		WARD LOCK
写真集 野生の報告=これが猛獣	1971	戸川幸夫		ベストセラーズ
戸川幸夫動物文学選集1 密猟者の岩場	1971	戸川幸夫	人喰鉄道、少年とオリックス、密猟者の岩場、アフリカ人ムヒンデ	主婦と生活社

戸川幸夫動物文学選集2 野生からの脱出	1971	戸川幸夫	ほたるの火の森、野生からの脱出、人喰い虎、夢の中の虎、鎖、雛、バイコフの虎皮、カジャード、非情、折れ牙、獅子王は髪結いの亭主也、黒い激流、“將軍”の秘密、わが友ドルファー、ハブ、加奈のマンガース	主婦と生活社
戸川幸夫動物文学選集3 爪王	1971	戸川幸夫	爪王、黒い背鱗、咬ませ犬、花ぞのの教育者、東京雀、北へ帰る、飴色角と三本指、左膳鴉、狂い角、御用邸狐、生きる、吾妻の白猿神、老醜、栄光ある敗北、支配者、武尊の兄妹熊、火の帯、政命と獺、祖父の狼	主婦と生活社
戸川幸夫動物文学選集4 高安犬物語	1971	戸川幸夫	高安犬物語、熊犬物語、熊、罷風、罷の村、漂流、氷の牙、名人伝造、諸国獵人譚	主婦と生活社
戸川幸夫動物文学選集5 象使いのボスコ	1971	戸川幸夫	孤独の吠え声、象使いのボスコ、謀議、ライオン野郎、悲しき獣、爪、ゴリラ記、ボスの座、コンドル、鷲物語、窓に来た雀、ゴキブリの洋行	主婦と生活社
おれも落第生だった 人生、学問だけではない	1971	共著	戸川幸夫「こんど落第しちゃだめよ」	青春出版社
密獵者万次郎	1971	戸川幸夫		毎日新聞社
椋鳩十選「世界動物小説名作選」	1971	共著	戸川幸夫「黒いせびれ」	実業之日本社
すばらしい動物の世界(全5巻)①生きるためのたたかい	1972	戸川幸夫		朝日ソノラマ
すばらしい動物の世界(全5巻)②ふえるたえのたたかい	1972	戸川幸夫		朝日ソノラマ
すばらしい動物の世界(全5巻)③残るためのたたかい	1972	戸川幸夫		朝日ソノラマ
すばらしい動物の世界(全5巻)④動物のおもしろさ	1972	戸川幸夫		朝日ソノラマ
すばらしい動物の世界(全5巻)⑤うそとほんとの動物たち	1972	戸川幸夫		朝日ソノラマ
オーロラの下で	1972	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫／創作童話集2 三里番	1972	戸川幸夫		国土社
戸川幸夫／創作童話集1 夜汽車	1972	戸川幸夫		国土社
日本人の100年 8 明治の終焉	1972	共著	戸川幸夫「最後の武人 乃木希典」	世界文化社
イリオモテヤマネコ	1972	戸川幸夫		自由国民社
山溪カラーガイド60 カラー 日本の	1973	共著	戸川幸夫「玄界灘を想う」	山と溪谷社
野獣撮影	1973	戸川幸夫		山と溪谷社
進化への航路	1973	戸川幸夫		新潮社
小さい巨像	1974	共著	戸川幸夫「野生のエルザ」	朝日新聞社
日本教養全集 全18巻 12	1974	共著	戸川幸夫「私の動物放浪記」	角川書店

創作えぶんこ12 とべないハクチョ	1974	戸川幸夫		金の星社
国土社の創作児童文学16 コムケ湖への径	1974	戸川幸夫		国土社
日本史探訪 第十二集	1974	共著	戸川幸夫・野村尚吾「毛利元就」	角川書店
氷塊の挽歌	1974	戸川幸夫		実業之日本社
走れ小次郎	1974	戸川幸夫		金の星社
1975年度前期代表作 現代の小	1975	共著	戸川幸夫「飛翔」	三一書房
私の魂をゆさぶった一冊の本	1975	共著	戸川幸夫「私の若きころの読書遍歴」	一光社
動物くん こんにちは(動物のふしぎな世界をえがいた話)	1975	戸川幸夫		旺文社
道徳教育・この人と語る	1975	共著	戸川幸夫「生命の尊さを教えこむこと」	明治図書
戸川幸夫・動物ものがたり5 海の王のものがたり	1976	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫・動物ものがたり1 こうやす犬ものがたり	1976	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫・動物ものがたり3 白いさるの神さま	1976	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫・動物ものがたり4 からすの王さま	1976	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫・動物ものがたり6 三里番屋のあざらし	1976	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫・動物ものがたり7 太郎、北へかえる	1976	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫・動物ものがたり8 たたかう大わし	1976	戸川幸夫		金の星社
四季の江戸図絵 歴史ロマン傑作選	1976	共著	戸川幸夫「流水綺譚」	講談社
日本史探訪 第十六集	1976	共著	戸川幸夫・早乙女貢「近藤勇」	角川書店
〈自然と人間のものがたり〉5 かもしか学園	1976	戸川幸夫・自選集		家の光協会
愛犬記 ユーモアエッセイ集	1976	共著	戸川幸夫「犬」	番町書房
患者・看護婦・医者 看護懸賞論文記念講演集	1976	共著	戸川幸夫「死をみつめた人びと」	メヂカルフレンド社
追想 古畑種基	1976	共著	戸川幸夫「古畑先生と私」	珠真書房
牙王物語 上巻	1976	戸川幸夫		ソノラマ文庫
牙王物語 下巻	1976	戸川幸夫		ソノラマ文庫
赤い草原	1976	戸川幸夫		旺文社
戸川幸夫動物文学全集2	1976	戸川幸夫	人喰鉄道、オホーツク老人、笑う奴、黒い背鰭	講談社

戸川幸夫動物文学全集3	1976	戸川幸夫	密猟者万次郎、自由への脱出、飴色角と三本指、密猟者の岩場、密猟者、ある豹の物語、北へ帰る、支配者、熊	講談社
戸川幸夫動物文学全集4	1976	戸川幸夫	巨鯨の海、悲しき絶叫、群、カジヤード、吾妻の白猿神、秋田犬物語、三里番屋、忠犬像紳士録、狂い角、飛翔、名人ハブ源の左足、尾のないライオン	講談社
戸川幸夫動物文学全集5	1976	戸川幸夫	牙王物語、少年と虎、鷲物語、鎖の村、少年とオリックス、山犬塚、白い夜の下で、加奈のマンガース	講談社
戸川幸夫動物文学全集8	1976	戸川幸夫	膨張、ライオン野郎、土佐犬物語、罨の村、ネッシー浮上す、黒い流星、人喰い虎、氷の牙、サバンナは挽歌に暮れる、不幸なルーファス、祖父の狼、罨と缶詰、骨の影	講談社
戸川幸夫動物文学全集9	1976	戸川幸夫	ガラパゴス群島、青いレンズ、縄張りの歌、シロンジの人喰い虎、ハブ、狼の碑、いぬ馬鹿、武尊の兄妹熊、コンドル、熊犬物語、象使いのボスコ、姿なき影、バイコフの虎皮、隊長と犬係りと橇犬たち、夢の中の虎、謀議、老醜	講談社
戸川幸夫動物文学全集1	1976	戸川幸夫	孤独の吠え声、高安犬物語、毎別れ、失われた環、爪王、御用邸狐、仏法僧、わが友ドルファー、“将軍”の秘密、原猿への幻想	講談社
戸川幸夫動物文学全集13	1976	戸川幸夫	イリオモテヤマネコ、マタギ、野生の友だち	講談社
戸川幸夫・動物ものがたり2 たかの王さま	1976	戸川幸夫		金の星社
中国の美術と考古	1977	共著	戸川幸夫「元謀猿人から北京原人まで」	六興出版
戸川幸夫『戦争と人物』文学選 4 人間 乃木希典	1977	戸川幸夫		光人社
戸川幸夫『戦争と人物』文学選 2 悲しき太平洋	1977	戸川幸夫		光人社
戸川幸夫『戦争と人物』文学選 6 霧ある落日ほか短編	1977	戸川幸夫		光人社
戦乱 日本の歴史⑪ 戊辰の役	1977	共著	戸川幸夫「鳥羽・伏見の戦い」	小学館
日本の名峰	1977	共著	戸川幸夫・山下喜一郎「阿蘇山」	朝日ソノラマ
戸川幸夫・動物ものがたり9 子ぎつねものがたり	1977	戸川幸夫		金の星社
オオカミ犬物語	1977	戸川幸夫	オオカミ犬物語、クマタカのはばたき、白サル物語、ハブとイタチと三吉、てんぼうザル、北へ帰る	偕成社

探訪日本の城10 西海道	1977	共著	戸川幸夫「熊本城」	小学館
わが愛する芸人たち	1977	共著	戸川幸夫「長山藍子 タヌキプラスキツネ型」	株式会社北洋社
昭和快人録	1977	戸川幸夫		光人社
戸川幸夫動物文学全集6	1977	戸川幸夫	ほたる火の森、ゴリラ記、氷海の民、黒い激流、罷風、雛、左膳鴉、咬ませ犬、鎖、花ぞのの教育者、生きる、漂流、雪崩の谷、狡い奴	講談社
戸川幸夫動物文学全集7	1977	戸川幸夫	諸国獵人譚、熊が出たア、名人伝造、天皇の一分間、ゴキブリの洋行、仁さんと豚犬、自由ヶ丘の狐、毒蛇、カミさんと鼠、御用像騒動	講談社
戸川幸夫動物文学全集10	1977	戸川幸夫	凍原に吼える、蒼蠅、対決、東京雀、狼捕り三十郎、北狐の挽歌、砕けた牙、ライプツトの人喰虎、経も山は傾れる、象、政爺と獺、虎は語	講談社
戸川幸夫動物文学全集11	1977	戸川幸夫	サーカスの風、荒馬物語、かもしか学園	講談社
戸川幸夫動物文学全集12	1977	戸川幸夫	狼の軌跡、胡濱海流、氷海の挽歌、折れ牙、非情、象を撃つ、勇気、白眼がどこかで笑ってる、肥後の勘小父伝、ジャック・ロンドンの道、コマ、シートンと狼たち、虎への探求	講談社
戸川幸夫動物文学全集14	1977	戸川幸夫	けものの国へ、山の動物たち、野獣撮影、動物珍話	講談社
戸川幸夫動物文学全集15	1977	戸川幸夫	猛犬・忠犬・ただの犬、愛犬放浪記、こよりの犬、風流随筆	講談社
戸川幸夫・動物ものがたり10 ほえない犬	1977	戸川幸夫		金の星社
代表作時代小説 第四巻	1978	共著	戸川幸夫「勝頼の首」	東京文藝社
代表作時代小説 第六巻	1978	共著	戸川幸夫「維新の狐」	東京文藝社
代表作時代小説 第七巻	1978	共著	戸川幸夫「近藤と土方」	東京文藝社
代表作時代小説 第九巻	1978	共著	戸川幸夫「腹」	東京文藝社
代表作時代小説 第十巻	1978	共著	戸川幸夫「漂流綺譚」	東京文藝社
代表作時代小説	1978	共著	戸川幸夫「仇討ち遺聞」	東京文藝社
ベストセラ―物語 中	1978	共著	戸川幸夫「野生のエルザ」	朝日新聞社
NHK 歴史と人間③	1978	共著	戸川幸夫「松浦武四郎」	日本放送出版協会
動物恋愛物語 野生の青春	1978	戸川幸夫		佼成出版社
魔王〈実在した人食いヒグマ物語〉	1978	戸川幸夫		旺文社
青少年の座右銘 現代佐賀の百人〈上〉	1978	共著	戸川幸夫「敗者復活」	育英出版社
自伝抄V	1978	共著	戸川幸夫「動物と私」	読売新聞社
現代小説ベスト10 窓辺の孤独1975年版	1978	駒田信二、菊村到、尾崎秀	戸川幸夫「罷と罐詰」	角川書店

戸川幸夫動物記	1978	戸川幸夫	三里番屋、爪王、罨の村、土佐犬物語、高安犬物	新学社
世界伝記全集9	1978	戸川幸夫、鑑山芳郎	アムンゼン	講談社
NHK文化講演会1(検印廃止)	1979	共著	戸川幸夫「人間と動物」(講演記録)	日本放送出版協会
戸川幸夫・動物ものがたり13 金毛の大ぐま	1979	戸川幸夫		金の星社
日本のキャラクター 66人の提言 生きること・学ぶことについて	1979	共著	戸川幸夫「生きるということ」	雄鶏社刊
本能のジュークボックス〔動物行動学講義〕	1979	日高敏隆+戸川幸夫		朝日出版社
忘れられない本	1979	共著	戸川幸夫「N・A・バイコフ著『偉大なる王』」	朝日新聞社
オーロラの下で	1979	戸川幸夫・作		金の星社
酒恋うる話	1979	共著	戸川幸夫「動物とアルコール」	鎌倉書房
私の生きる心、私の場合	1979	共著	戸川幸夫「生きていてよかったね」	KKロングセラーズ
牙王物語	1979	戸川幸夫		講談社
戸川幸夫・動物ものがたり11ぞうの王さま	1979	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫・動物ものがたり12 キタキツネのうた	1979	戸川幸夫		金の星社
私の育てられ方	1980	共著	戸川幸夫「動物を友とし、大自然の中で学んだ “人生は川の流れの如し”」	廣済堂出版
戸川幸夫・動物ものがたり15(全15巻) さいごのおおかみ	1980	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫・動物ものがたり14 人くいトラ	1980	戸川幸夫		金の星社
タイガー	1980	カイヤシユ・サンカラ著、戸川幸夫・榎部ふじ		講談社
シートン荒野をゆく 現代・創作児童文学	1980	戸川幸夫		金の星社
図説 人物日本の女性史9 維新期の才女たち	1980	共著	戸川幸夫「乃木静子」	小学館
山嶽巨人伝(上)	1980	戸川幸夫		六興出版
山嶽巨人伝(中)	1980	戸川幸夫		六興出版
山嶽巨人伝(下)	1980	戸川幸夫		六興出版
現代ミステリー③ 殺人貸借表	1980	共著	戸川幸夫「白眼がどこかで笑ってる」	光文社
蒼き獅子たち	1980	戸川幸夫		六興出版
北海道文学全集 第18巻	1981	共著	戸川幸夫「オホーツク老人」	立風書房
シートンのかかげた灯	1981	戸川幸夫		旺文社

密林の裁き	1981	戸川幸夫	密林の裁き、罷・知床太郎の最期、蝦蟇馬と冬坂老人、ある獅子王の死、犬に詫げる、大牙の自信	講談社
強肴(しいざかな)	1981	共著	戸川幸夫「佐賀の茶がゆ」	講談社
扇谷正造 人生対談集 我以外皆	1981	共著	戸川幸夫「動物よもやま話」	青葉出版
ザ・エンターテインメント1981	1981	共著	戸川幸夫「密林の裁き」	角川書店
密林の裁き	1981	戸川幸夫		講談社
白石山塊①	1981	戸川幸夫		毎日新聞社
白石山塊②	1981	戸川幸夫		毎日新聞社
乃木と東郷(全)	1982	戸川幸夫		光人社
続続 値段の風俗史 明治大正昭	1982	共著	戸川幸夫「胃散」	朝日新聞社
高安犬物語	1982	戸川幸夫		金の星社
動物千一夜	1982	戸川幸夫		中央公論社
新 現代佐賀の百人—青少年への座右銘—	1982	共著	戸川幸夫「敗者復活」	育英出版
のら犬物語	1982	戸川幸夫		金の星社
人喰鉄道(下)	1982	戸川幸夫		講談社
死闘記	1982	戸川幸夫		毎日新聞社
江戸城	1982	戸川幸夫		成美堂出版
山嶽巨人伝 上	1983	戸川幸夫		徳間書店
山嶽巨人伝 中	1983	戸川幸夫		徳間書店
山嶽巨人伝 下	1983	戸川幸夫		徳間書店
道 昭和の一人一話集(非売品)	1983	共著	戸川幸夫「敗者復活」	中統教育図書株式会社
北九州 語り部たちの声 ふるさと伝説の旅 12	1983	共著	戸川幸夫「〔佐賀県〕いたずらの妖怪—河童の伝説」	小学館
日本のリーダー⑤国際交流の演出	1983	共著	戸川幸夫「嘉納治五郎」	TBSブリタニカ
鈴木健二VS作家26人「おんな」を	1983	共著	戸川幸夫「生まれかわるならライオンのオスに」	実業之日本社
わが母を語る	1983	共著	戸川幸夫「あの時の怖い顔」	PHP研究所
シートンのかかげた灯	1983	戸川幸夫		旺文社文庫
マタギ 日本の伝統狩人探訪記	1984	戸川幸夫		クロスロード選書 玄天書房
代表作時代小説 新装版第六巻	1984	共著	戸川幸夫「維新の狐」	東京文藝社
代表作時代小説 新装版第七巻	1984	共著	戸川幸夫「近藤と土方」	東京文藝社
代表作時代小説 新装版第九巻	1984	共著	戸川幸夫「腹」	東京文藝社
代表作時代小説 普及版第二十四	1984	共著	戸川幸夫「仇討ち遺聞」	東京文藝社
代表作時代小説 新装版第四巻	1984	共著	戸川幸夫「勝頼の首」	東京文藝社
代表作時代小説 新装版第十巻	1984	共著	戸川幸夫「漂流綺譚」	東京文藝社
代表作時代小説	1984	共著	戸川幸夫「謎の人ブラキストン」	東京文藝社
東京 むさしの挽歌 ふるさと伝説の旅 4	1984	共著	戸川幸夫「人間くさい動物—王子の狐」	小学館

動物の一生不思議事典 性・育児・教育・集団・「文化」	1984	共著		三省堂
犯罪の昭和史 読本1戦前昭和1年-昭和20年	1984	共著	戸川幸夫「甦った暗殺者」	作品社
青少年へ贈る言葉 わが人生論(上)佐賀編	1984	共著	戸川幸夫「父の葉隠」	文教図書出版
私の子どもの頃	1984	共著	戸川幸夫「明治型教育と自然の野山」	(財)全日本青少年育成会
サバンナに生きる	1984	戸川幸夫		新潮社
戦場への紙碑	1984	戸川幸夫		オール出版
王者のとりで	1984	戸川幸夫		金の星社
日本史探訪21 菊と葵の盛衰 角川書店編	1985	共著	戸川幸夫・早乙女貢「左幕派の巨魁、新選組局長近藤勇」	角川書店
木のこえ花のうた	1985	共著	戸川幸夫「ウメ」	朝日新聞社
ヒトはなぜ助平になったか 性談動物記	1985	戸川幸夫		講談社
銀座百点撰集	1985	共著	戸川幸夫「銀座新橋こぼれ話」	銀座百点会
百年の日本人 その2	1985	共著	戸川幸夫「長谷川伸 大衆文学の巨塔」	読売新聞社
日本の剣豪 五	1985	共著	戸川幸夫「佐々木唯三郎」	旺文社
新人国記8	1985	共著	戸川幸夫「福島県」「佐賀県」「新潟県」「徳島県」「石川県」	朝日新聞社
私を救った妻の一言 ありがとう、これからもよろしく!	1985	共著	戸川幸夫「賞をもらうなんて欲なんか出さずに全力投球したら」	KKベストセラーズ
高安犬物語⑤	1985	戸川幸夫		埼玉福祉会
食のエッセイ珠玉の80選-雑誌「食生活」を彩った80人の名品集-	1986	共著	戸川幸夫「粉雪の中の味噌汁」	国民栄養協会
明治の気概 日本海海戦の証言	1986	戸川幸夫		光人社
戸川幸夫の愛犬記	1986	戸川幸夫		文陽社
ヒトはなぜ子育てが下手か 親子動物記	1986	戸川幸夫		講談社
四季遊人 住まいの文化誌	1986	共著	戸川幸夫「動物と四季」	ミサワホーム総合研究
あなたに贈る81人のことば	1986	共著	戸川幸夫「“拓”という字」	財団法人全日本社会教育連合会
ほたる火の森	1986	戸川幸夫		徳間書店
高安犬物語⑥	1986	戸川幸夫		埼玉福祉会
日露の激戦 その戦略と戦術の研究	1987	共著	戸川幸夫「乃木とステッセル 勝敗を分けた指揮官の条件」	世界文化社
若い日の私Ⅱ	1987	共著	戸川幸夫「動物園、骨拾い、蛇飼育…」	毎日新聞社
日本剣豪列伝(下)	1987	共著	戸川幸夫「佐々木唯三郎」	旺文社

「本屋さん」との出会い	1987	共著	戸川幸夫「少年雑誌と本屋」	洋泉社
名作アニメシリーズ 高安犬物語	1987	戸川幸夫(原作)		新潮文庫
人間 乃木希典	1988	戸川幸夫		光人社
悲しき太平洋 新装版	1988	戸川幸夫		光人社
ヒトはなぜ助平になったか	1988	戸川幸夫		講談社
食の百科事典 食文化研究所	1988	共著	戸川幸夫「野獣の味」	新人物往来社
東京の山形の人	1988	共著	戸川幸夫「山形の青春」	山形県人東京連合会
松濤館五十年のあゆみ	1988	共著	戸川幸夫「松濤館の思い出」	日本空手道松濤會
私を生かした一言	1988	共著	戸川幸夫「「拓」転身するなら、まだ開かれていない道をゆけ」	大和出版
母よ、お母さんてなんだろう!?	1988	共著	戸川幸夫「怖い母優しい母」	中央法規
住まい学体系/014 東京セレクション「花の巻」	1988	共著	戸川幸夫「青山」	凸版印刷株式会社
高安犬物語	1988	戸川幸夫		国土社
教育を語るエッセイ集 だんわしつ	1988	共著	戸川幸夫「アフリカで」	図書文化社
日本随筆紀行第三巻 青森/秋田/山形 遊ぶ童子の紅き頬	1988	共著	戸川幸夫「最後のマタギ村」	作品社
日本随筆紀行第二三巻 福岡/佐賀/熊本/大分	1988	共著	戸川幸夫「私の育った佐賀ン町」	作品社
中学生・高校生必読名作シリーズ	1988	戸川幸夫	魔王、クマの話	旺文社
少年少女日本文学29強力伝・高安犬物語	1988	共著	戸川幸夫「高安犬物語」「ほたる火の森」	講談社
ゴリラの山に生きる	1988	戸川幸夫		金の星社
牙王物語①	1988	戸川幸夫		埼玉福祉会
牙王物語②	1988	戸川幸夫		埼玉福祉会
牙王物語③	1988	戸川幸夫		埼玉福祉会
乃木と東郷 上	1989	戸川幸夫		PHP研究所
乃木と東郷 下	1989	戸川幸夫		PHP研究所
戦国悪党伝	1989	戸川幸夫		徳間書店
仇討ち遺聞	1989	戸川幸夫		PHP研究所
昭和文学全集 32	1989	共著	高安犬物語	小学館
この人この句 各界俳人三百句	1989	共著	戸川幸夫「大合唱しつづ舞い散る櫻かな」「雨蛙こもごも雨声争へり」「脳死ふて生のありけり虫の	主婦の友社
日本名城紀行6 四国・九州	1989	共著	戸川幸夫「熊本城」	小学館
虎を求めて インド野生紀行	1989	戸川幸夫		講談社
昭和文学全集32 中短編小説集	1989	共著	戸川幸夫「高安犬物語」	小学館
幕末・維新の群像5 西郷と久保	1989	共著	戸川幸夫「西郷隆盛 革命に生き 革命に散った薩摩の高士」	小学館

「漫画讀本」傑作編	1989	共著	戸川幸夫「巨大物語」	文藝春秋
おらだの山形 ベにばな会編	1990	共著	戸川幸夫「まえがき ベにばな会のこと」「高安犬物語」	山形県観光協会
より豊かに生きるために	1990	共著	戸川幸夫「学ぶ、遊ぶ、そして生きる」	山形県総務部生涯教育振興局
代表作時代小説 普及版第三十巻	1990	共著	戸川幸夫「謎の人ブラキストン」	光風社出版
代表作時代小説 普及版第三十一	1990	共著	戸川幸夫「蝦夷狼の挽歌」	光風社出版
私の尊敬する人	1990	共著	戸川幸夫「底辺に目を配った人 恩師・長谷川伸先生」	講談社
東郷神社創建五十年 記念特集号『東郷』	1990	共著	戸川幸夫「(隋録)四度の危機から甦った三笠」	東郷神社・東郷会
アニメ絵本 オーロラの下で	1990	戸川幸夫		金の星社
愛蔵版 オーロラの下で	1990	戸川幸夫		金の星社
ヒトはなぜ子育てが下手か	1990	戸川幸夫		講談社
栃木県近代文学全集6 近代文学 栃木集	1990	共著	戸川幸夫「御用邸狐」	栃木県文化協会
人間成長期 住まいの文化誌	1990	共著	戸川幸夫「人と動物の子育て」	ミサワホーム総合研究
香りの記憶	1990	共著	戸川幸夫「鼻が利くということ」	新潮社
新選組 傑作コレクション	1990	共著	戸川幸夫「近藤と土方」	河出書房新社
時代小説の楽しみ1 秘剣、豪剣、魔剣	1990	共著	戸川幸夫「榊原健吉」	新潮社
美しい虹を架けて	1990	共著	戸川幸夫「朝鮮トラ見に白頭山へ」	朝鮮新報社
昭南島物語①	1990	戸川幸夫		読売新聞社
昭南島物語②	1990	戸川幸夫		読売新聞社
極地に挑む◇白狼物語◇	1990	戸川幸夫		潮出版社
オーロラの下で(愛蔵版)	1990	戸川幸夫		金の星社
イヌ・ネコ・ネズミ 彼らはヒトとどう暮らしてきたか	1991	戸川幸夫		中央公論社
織田信長	1991	共著	戸川幸夫「異説・本能寺の変」	河出書房新社
日本ベストミステリー選集⑫ 失踪ストリート	1991	共著	戸川幸夫「白眼がどこかで笑ってる」	光文社
不思議・伝説の城めぐり 名城の謎と怪奇	1991	共著	戸川幸夫「熊本城 難攻不落を誇った名城の運命」	大陸書房
日本再発見 道①	1991	共著	戸川幸夫「甲斐から信濃へ——信玄の棒道」	同朋社
時代小説の楽しみ12 波濤風雲録	1991	共著	戸川幸夫「維新の狐」	新潮社
山形の山々	1992	共著	戸川幸夫「山形の野生動物」	山形県生涯学習セン
歴史小説名作館10 雄図ならず	1992	共著	戸川幸夫「小栗上野の死」	講談社
吉川英治とわたし	1992	共著	戸川幸夫「吉川先生と私」	講談社
俳句動物記	1992	戸川幸夫		富士見書房

愛犬記	1992	戸川幸夫		PHP研究所
中くらいの妻―、93年度ベスト・エッセイ集―	1993	共著	戸川幸夫「母と看護婦の間で」	文藝春秋
人間提督 山本五十六〈上巻〉	1993	戸川幸夫		光人社
人間提督 山本五十六〈下巻〉	1993	戸川幸夫		光人社
アンソロジー人間の情景8 動物との日々	1993	共著	戸川幸夫「(Ⅲ謎への接近)仏法僧」	文藝春秋
動物とわたし5つの物語	1993	戸川幸夫		サーブ記念文学賞委員
サバンナの風	1993	共著		メディアパル
プロアマオープン 平成大句会 NHK出版編	1994	共著	戸川幸夫 紀州の竜神村にて「狼の謎秘め竜神梅雨に入る」 知床半島にて「仔狐の風追ひ回す夏野かな」 インドのランタムポーレにて「虎の棲む森水無月の匂ひかな」	日本放送出版協会
[地球人ライブラリー]高安犬物語/	1994	戸川幸夫		小学館
私の父私の母	1994	共著	戸川幸夫「両親と葉隠」	中央公論社
信長ざらい 巻頭随筆6	1994	共著	戸川幸夫「狼行脚」	文藝春秋
剣よ風を呼べ 時代小説傑作選	1994	共著	戸川幸夫「蝦夷狼の挽歌」	講談社
94年版ベスト・エッセイ集 母の写	1994	共著	戸川幸夫「長谷川伸と蛇」	文藝春秋
狼の碑《エゾオオカミ絶滅記》	1994	戸川幸夫(原作) 本庄敬(漫画)		秋田書店
日本剣豪列伝Ⅲ	1995	共著	戸川幸夫「佐々木唯三郎」	福武書店
自然と人間の絵本1 オホーツクの海に生きる・彦市じいさんの話・	1996	戸川幸夫(原作)、戸川文(文)、関屋敏隆(型染版画)		ポプラ社
さくらんぼの詩	2001	共著	戸川幸夫「桜桃泥棒」(『ひかり北地に』より)	山形放送株式会社
人物日本剣豪伝 五	2001	共著	戸川幸夫「佐々木唯三郎」	学陽書房
時代小説大全集5 人物日本史 明治大正	2001	共著	戸川幸夫「嘉納治五郎」	新潮社
俳句動物記	2002	戸川幸夫		富士見書房
生きるための死に方 新潮45:編	2002	共著	戸川幸夫「ではお静かに…」といきたいが」	新潮社
ふるさと文学館 第三巻【青森】	2003	共著	戸川幸夫「犬にも劣る奴」(地獄を見た歴史)	ぎょうせい
新選組興亡録	2003	共著	戸川幸夫「近藤と土方」	角川書店
ふるさと文学館 第七巻【山形】	2004	共著	高安犬物語	ぎょうせい
ふるさと文学館 第四十八巻【佐賀】	2004	共著	戸川幸夫「政爺と獺」(ふるさと哀歌)	ぎょうせい
怪奇・怪談 時代小説傑作選	2004	共著	戸川幸夫「影を売った武士」	徳間書店
イヌ・ネコ・ネズミ 彼らはヒトとどう暮らしてきたか	2004	戸川幸夫		社会福祉法人 埼玉福祉会

時代小説の楽しみ1 秘剣、豪剣、魔剣 縄田一男編	2004	共著	戸川幸夫「榊原健吉」	新潮社
山形県文学全集1	2004	共著	戸川幸夫「ひかり北地に」	郷土出版社
山形県文学全集2	2004	共著	戸川幸夫「高安犬物語」「ほたる火の森」	郷土出版社
直木賞篇	2004	共著	戸川幸夫「高安犬物語」「ほたる火の森」	リブリオ出版
のら犬物語	2006	戸川幸夫		金の星社
戸川幸夫動物文学セレクション④オホーツク老人	2008	戸川幸夫	オホーツク老人、コンちゃん、いぬ馬鹿、花園の教育者、狂い角、罨と缶詰、砕けた牙、黒い背鱗、北へ帰る、天皇の一分間	講談社
戸川幸夫動物文学セレクション②虎は語らず	2008	戸川幸夫	罨風、ゴリラ記、鱗王、虎は語らず、加奈のマンガース、飴色角と三本指、カミさんと鼠、象、爪、ゴキブリの洋行、老醜、名人ハブ源の左足	講談社
戸川幸夫動物文学セレクション①高安犬物語	2008	戸川幸夫	生きる、高安犬物語、爪王、、悲しき絶叫、吾妻の白猿神、自由ヶ丘の狐、荒馬物語、東京雀、罨が出たア	講談社
戸川幸夫動物文学セレクション③人喰鉄道	2008	戸川幸夫	人喰鉄道	講談社
戸川幸夫動物物語① 高安犬物語	2008	戸川幸夫	高安犬物語、火の帯	国土社
戸川幸夫動物物語② 土佐犬物語	2008	戸川幸夫	土佐犬物語、戸倉ワシ	国土社
戸川幸夫動物物語③ くだけた牙	2008	戸川幸夫	くだけた牙、東京スズメ、黒い背びれ	国土社
戸川幸夫動物物語④ ノスリ物語	2008	戸川幸夫	ノスリ物語、今日も山はなだれる、コンちゃん	国土社
戸川幸夫動物物語⑤ 政じいとカワウソ	2009	戸川幸夫	政じいとカワウソ、ご用邸ギツネ、生きる	国土社
戸川幸夫動物物語⑥ 荒馬物語	2009	戸川幸夫	荒馬物語、北へ帰る	国土社
戸川幸夫動物物語⑦ 野犬物語	2009	戸川幸夫	野犬物語、老いたるつばさ、ゴリラ記	国土社
戸川幸夫動物物語⑧ ひれ王	2009	戸川幸夫	ひれ王、三里番屋、爪	国土社
戸川幸夫動物物語⑨ 吾妻の白サル神	2009	戸川幸夫	吾妻の白サル神、左膳ガラス、あめ色角と三本指	国土社
戸川幸夫動物物語⑩ 秋田犬物語	2009	戸川幸夫	秋田犬物語、カモシカ、武尊の兄妹グマ	国土社

<その他>

列1	列2	列3	列4	列5
伝統と未来 ,75八戸市民大学講座講演集(非売品)	1976		戸川幸夫「動物と人間」	八戸市教育委員会
写真図説 旧制高等学校 白線帽の青春 東日本編	1988		戸川幸夫「よき時代の山高」	国書刊行会
中央道路百年記念誌 オホーツクへの道	2001		戸川幸夫「鎖塚街道にて」	網走支庁管内総合開発期成会

<p>文藝春秋 オール読物 2002. 8</p>	<p>2002</p>		<p>『直木賞「受賞のことば」集成』P360-361 『第三十二回(昭和二十九年下期)「高安犬物語」』のチンは実存していました。しかしこの小説のチンは、もちろん私の心の中に育った私の犬です。その英雄犬の傳記を描くことによつて、いまは跡を断つた純粹高安犬というものを廣く紹介したかったのです。ですから“愛情過多”に陥っている點</p>	<p>凸版印刷株式会社</p>